

プレスリリース

地域がん登録報告書の発行について

広島県地域がん登録は、広島県の効果的ながん対策の推進に資するため、県内で発生するがんの特性を把握し、予防活動の有効性、およびがん医療水準の評価などを行うためにデータを収集している。

◇登録方法

専用様式により、登録機関（115 施設）より 1 つのがんごとに 1 枚の届け出用紙を提出する形式。

◇調査対象期間

平成 25（2013）年 1 月 1 日～12 月 31 日の 1 年間。

◇がん登録の対象

広島県内に居住し、悪性新生物（がん）と診断された患者。

◇平成 25 年の登録数

28,623 件

◇報告書の概要

①がん死亡

平成 25（2013）年のがん死亡数は 8,212 人（男性 4,872 人、女性 3,340 人）であった。部位別の死亡数は、男性では肺がん（1,110 人）、胃がん（668 人）、肝および肝内胆管がん（604 人）の順で多かった。女性では肺がん（486 人）、胃がん（395 人）、膵臓がん（339 人）の順で多かった。

女性の膵臓がんは昨年までは死亡数が 5 番目に多いがんであったが平成 25（2013）年は 3 番目に多いがんであった。4 番目の結腸が 332 人、平成 24（2012）年に 3 番目に多かった肝および肝内胆管がんが 312 人と大差はないが今後の増減に注視していくことで素早いがん対策が可能となる。

②がん罹患

広島県がん登録で把握するがん情報の精度の高さは全国でもトップレベルであり、DCN 割合 4.6%、DCO 割合は 2.9%。

平成 25（2013）年のがん罹患数は 23,953 件（男性 13,943 件、女性 10,010 件）であった。男性では胃がん（2,684 件）、前立腺がん（2,060 件）、肺がん（1,884 件）の順で多かった。女性では乳がん（2,037 件）、胃がん（1,182 件）、結腸がん（1,040 件）の順で多かった。

③年齢階級別がん罹患率

性別・年齢階級別にがん罹患率を集計すると 54 歳までは女性のがん罹患率が高く、それ以上の年齢になると男性の罹患率が高くなる。乳がん、子宮がん、卵巣がんの女性特有のがんの罹患年齢が他のがんより若いことがデータからわかる。このデータからはがん種ごとにがん検診の受診勧奨を有効なタイミングで行うことが可能になる。

◇総括

精度の高いデータはすなわち、より正確ながん対策に役立つ。本データが、広島県のがん対策に役立てられ、県民の健康増進に有意義に使用されることを願う。

※DCN 割合…罹患数に対する死亡表で初めて登録されたがんの割合

DCO 割合…罹患数に対する死亡表のみで登録されたがんの割合